

# 東清(株)

中津川市・廃棄物収集運搬業

廃棄物処理業や下水道維持管理など、地域の環境保全を担う。保育園から大学院まで教育手当を支給し、福利厚生について話し合う「くるみん委員会」を設けるなど、現状に合った支援に努める。

従業員数/男性79名 女性10名 計89名 ※平成29年1月31日現在

平成24年度  
認定



「家族的な会社」の理念のもと、社員同士のつながりを大切に業務に取り組む東清。

## 必要な制度を社員自ら考案

東清では、各部署の代表で構成された「くるみん委員会」を立ち上げ、福利厚生について従業員自身と話し合い、本場に必要ない支援を実践。2014年度には、小学校から大学院までの子どもに対して支給していた子女教育手当を、

保育園まで拡充した。その他、お金の使い方を学ぶ「マネープラン講座」や、運転の多い従業員に向けた「腰痛予防講座」などを企画・開催。吉村美津子専務は「2012年にくるみん委員会を立ち上げ、年数を重ねることで若い参加者も増え、積極的に考えを出してくれるようになった」と話し、吉村敏博社長も「これまでのトップダウン形式と違い、従業員から意見を吸い上げることで、ニーズに寄り添った支援になる」と、同委員会の役割を重視する。年次有給の取得も積極的に促進。5日間を時間単位で取得可能にして活用を促したところ、3歳となる双子を育てる鷹見あゆみさんも「子どもの用事などにとっても便利」と喜びを語る。同社は従業員89人に対し、女性は10人と少数。しかし社内には、「家族的な会社」という理念が浸透しており、子育て中の



くるみん委員会では、社内の福利厚生について社員同士が意見を出し合い職場環境の向上を目指す。

従業員に対するフォローも惜しまない雰囲気だ。2014年からは現場にも女性従業員を配置し、2016年度には現場に2名を採用。今後も現場で働く技術職の女性採用に力を入れ、同時により働きやすい職場づくりを目指す。